

事故報告件数

1月	骨折	転倒	尻餅	皮下出血	転落	誤薬	誤嚥	感染	その他	計
特養	0	1	2	0	1	0	0	0	1	5
短期入所	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
2月	骨折	転倒	尻餅	皮下出血	転落	誤薬	誤嚥	感染	その他	計
特養	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
短期入所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※安立園独自の事故・ヒヤリハットの区分に基づき集計した件数になります。

ヒヤリハット報告件数

1月	計
特養	5
短期入所	1
2月	計
特養	8
短期入所	0

事故防止対策委員会
介護副主任 瀬戸口 智子

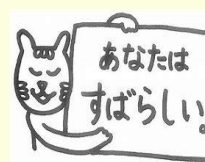


【職員面談】

安立園では毎年、各職員の目標を設定し成長を促すことを目的として、上司と各職員とで個別に面談を実施しています。

その中で、「目標としている職員はいますか？」の問いに、多くの職員が**亀沢職員**の名前を上げています。理由としては、

- ・ご利用者様への声の掛け方がとても丁寧。
- ・忙しい時でも、落ち着いて対応している。
- ・いつも笑顔で、気分の起伏がない。
- ・一つ一つの仕事に真摯に取り組んでいる。



etc



今後も、各職員が近くにいる良いお手本を参考にし、吸収することにより、安立園全体の介護スキルを上げ、ご利用者様が満足していただけるよう努めていきたいと思ひます
安立園特別養護老人ホーム 主任 内村

安立園では、職員のお悩みをみんなで「共感」しています。

【個別ケアお悩み用紙より】

「E様(男性)への声のかけ方について悩んでいます。自室やお風呂へお誘いする際、辞退されてしまうことが多々あります。声掛けの仕方、タイミングなどコツはありますか？もしかして、職員によって、返答を変えているのでしょうか？」

職員 K

【カンファレンスでのみんなの声】

「ご家族の話題、スポーツの話題でなごんでから誘導している。」

「入浴の際は、前もって『今日の午後のお風呂は、私が担当します。お迎えにいきますのでよろしくお願ひします。』と声をかけておくとう良い。」

「排泄介助でお部屋に誘導するときは『お部屋を暖めておきました。お疲れでしょうから、休みましょうか？』と声をかけている。」

「お部屋に誘導する前にチョコとコーヒーを楽しんでいただき、終わったところに『ずーっと起きているので横になりましょうか？』と声をかけている。」

などなど。ご本人のプライドを尊重し、言葉遣いに気をつけているとの声が多かったです。みんないろんな工夫をしています。職員の価値観を共有していきましょう。

2023. 1. 25 虐待防止委員会

● お亡くなりになられた方 ●
3名の方が天寿を全うされました。



沢山の思い出をありがとうございます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

「私が仕事で大切にしていること」

職員ひとことりレー 【第16回】

ショートステイ担当の山本です。

私が仕事をする上で気を付けていることは、「安心して過ごして頂く事」です。 するために笑顔で丁寧な対応を心がけています。

ショートステイは短期間で自宅より泊りに来られる所です。

認知症の方にとっては「なぜ泊まるのかわからない」「家に帰りたい」という方もいらっしゃいます。自分の要望をうまく伝えられない方もいます。そんなお年寄りに寄り添い、些細な事でも声を掛けるようにしたり、笑顔で対応することで少しでも不安が取り除けたらと思います。



ショートステイ担当
山本CW

私が仕事で大切にしていることは「笑顔」です。笑顔はコミュニケーションをとる中で一番大事なものであると思っています。何よりご利用者様一人一人の笑顔をどうやったら引き出せるかを考えていると、自分自身が自然と笑顔が多くなります。日々生活を送る中でどうしたって楽しい事ばかりでは無いと思います。悲しくなったり、寂しくなったり、腹が立つことも当然あると思います。そんな時に私達が笑顔で声を掛けることで、少しでも気持ちが明るくなって頂けたら嬉しく思います。「楽しいから笑顔になるのではなく、笑顔でいたら何か楽しくなった」なんて事もあると思います。これからも笑顔を絶やさず、笑顔を引き出すことが出来る介護福祉士を目指していきます。



特養担当
福村CW

BCP防災訓練

1月20日(金) 17:00~18:00

BCP訓練を実施しました。

BCPとは災害などの緊急事態における事業継続計画 (Business Continuity Planning) のことです。冬の夜間に電気、水道、ガスが停止したと想定し、現在保有している機器を使用し訓練を行いました。実際に携帯発電機を稼働させ投光器で明かりを確保。地下貯水タンクから水を運び、ガスコンロで湯煎した非常食を温めて数名の方に食べて頂きました。万が一の際、ご利用者様を守るため今後も訓練実施していきます。



各担当に別れ準備開始



発電機稼働し電源確保



厨房から非常食・大鍋を運搬



地下貯水タンクからの水を利用



非常食を湯煎し温める



温めた非常食を容器に移す



非常食を夕食に追加提供



防災委員会
SS 木谷副主任

編集：安立園特別養護老人ホーム 広報委員会 (河合 池端 青柳)